

令和3年度 学校評価シート

青梅市立新町中学校

<学校経営計画の重点>

1 学力の向上 2 思いやり、規範意識、社会貢献の態度の育成 3 健康・安全な学校 4 地域・保護者との連携

項目	経営目標	本年度の重点	具体的な方策	評価	分析結果	改善策	学校運営協議会委員からのコメント	評価
学力の向上	○主体的に学び、学習する生徒の育成 ○生涯学習の基礎を育成	・基礎的・基本的な知識・技能の定着と学んだことを活用する力を育成する。 ・「ほめる・はげます・考えさせる」に重点を置き、学習への意欲を高め生涯学習の基礎をつくる。	・良好な学習環境を維持していくため、チャイム着席・発言・発表、聞く態度を改善していく。タブレットドリル、電子黒板などのICTの活用を推進する。		・授業態度は全体的には良好であった。例年の課題ではあるが、集中できていない生徒もいる。 ・ICT機器は積極的に活用できた。	・授業規律については、今後も改善を図っていく、誰もが参加できる時間を設定する等の工夫を取り入れる。 ・普通教室の電子黒板の活用を推進する。	・何事も規律を守らせることが基本であり、今後も規律の徹底を継続してほしい。 ・ICTを導入して、試行を繰り返しながら、スムーズに活用しつつあると思われる。 ・授業はよい状態が続いているようなので、今後もよろしく願います。 ・設備も整ったので活用をお願いします。	4
			・言語活動を通して学んだことを活用する授業を実践して学習意欲を高めていく。(体験、学びあい、発表等の機会を工夫して増やしていく。)		・新型コロナウイルスの感染防止の観点から、言語活動、学び合い、体験的行事などの実施が困難であった。	・電子黒板やタブレットを活用した意見交換やコミュニケーション活動を工夫する。	・コロナ禍であるが、限られた機会を活用して校外学習等の体験活動を行っている。 ・このような体験や発表が難しい中、工夫して意欲を高めていると思う。今後も進めてほしい。何かあれば地域も協力します。	3.7
健全育成	○思いやり、規範意識、主体的に社会に貢献する力の育成 ○健康で安心・安全な学校生活の実現(いじめ、不登校の未然防止)	・学校行事・特別活動を通じた人間関係づくりと社会に貢献する力を育成する。 ・健康教育、安全教育の充実を図り、危機回避能力の育成を行う。	・学校行事での人間関係づくりと校内、校外のボランティア活動等による社会貢献の態度を育成する。(生徒の活躍の場を工夫しながら積極的に設定する。)		・校内でのボランティア活動は実施できたが、地域での活動は実施できなかった。校内のボランティア活動は活発にできた。	・状況を見ながら校内でのボランティア活動を増やす等の工夫を行う。 ・防犯、火災予防ポスター等の出品も考慮する。	・人間関係づくり、社会貢献の精神は今後の人生で役立つので、力を入れてほしい。 ・環境ボランティア活動では、生徒が積極的に活動していた。指導も行き届いていた。 ・コロナ禍で人間関係が築きにくい、学校でもできるだけフォローをお願いしたい。	4
			・日頃から生徒理解に務め、いじめ・不登校等への早期対応を行なう。また、大学やPTAと連携した不登校生徒の居場所づくりを推進していく。		・新型コロナウイルスの影響で大学の支援員の派遣はなかったが、地域のボランティアを活用して不登校支援を行った。	・来年度も地域人材を活用した不登校支援を継続・拡大していく。 ・週5日の開設は継続する。	・いじめ、不登校対応は今後も充実を図ってほしい。 ・PTA理事会でいじめ等の認知件数を報告するとともに対策の報告があるなど確実に対応をしている。	4
			・健康、交通安全等の情報発信、情報モラル教育等のセーフティ教室の実施、不審者情報等の発信を行い意識を高めていく。		・SNSに関するセーフティ教室を中心に実施した。不審者情報は、その度ごとに関係小学校と連携して情報発信を行った。	・学年ごとのセーフティ教室の実施を継続していく。薬物乱用防止、自殺予防、SNSなどを計画に基づき実施する。	・千葉県八街市の事故を受け、学区の危険個所の把握に努めるなどの対応が伺える。 ・コロナで大変な状況にあるが、今後も、生徒たちのために万全を期してほしい。 ・運動会は感染防止に努めよくできていた。	3.7
その他	○学校生活の公開を進め、地域・保護者と連携した教育の推進 ○持続可能な学校の指導・運営体制構築のため、働き方改革を推進	・教育活動の積極的な公開と地域・保護者が教育活動にかかわれる体制づくりを行なう。 ・生徒のスポーツニーズに対応した適正な部活動の実施、効率的な教育活動、勤務時間に対する意識改革を進めていく。	・学校だよりや写真付きメール配信、学校公開等による公開を工夫して実施するとともに、地域・保護者の学校教育に対する理解を深め学校生活向上への協力を求める。		・学校行事が少なかったことから、学校生活の様子は例年より、発信が少なくなった。 ・緊急時の連絡手段としては、定着してきている。	・今後も学校の状況を伝える発信を継続していく。 ・Google Classroomを活用した動画配信なども積極的に活用していく。	・学校だより、メール配信などにより、地域・保護者等への理解をx z深める取り組みを継続してほしい。 ・メール配信で学校の様子が公開されている。 ・授業公開が実施できず残念である。	4
			・生徒数の減少に対応した部活動の整理、生徒のニーズに対応した部活動の在り方の検討を行なう。時間外の教育活動及び教育効果の少ない活動の整理・統合を進めていく。		・生徒数の減少から、部活動の数を減らしてきたが、部活動の縮小については、反対意見も多い。 ・PTA活動の縮小については、毎年改善されている。	・令和5年の休日の部活動の段階的移行に対応して、入部者の少ない部活動等の精選や他校との合同部活の推進も検討していく。	・スポーツによる健康意識の向上に部活動は重要であり、今後も継続は必要である。 ・PTA活動等も、会議等の縮小、時間短縮などが行われている。 ・働き方改革と部活動のバランスがとれている。 ・コロナにより、部活動ができなくなった影響をよくみることも大切である。	3.7

※ 評価は、左側が学校で行った内部評価で、右側が学校運営連絡協議会委員（5名）の方から寄せられた評価です。
評価は4段階評価です。 （ 4 よくてきている 3 できている 2 改善が必要である 1 大いに改善が必要である ）